

2024年11月7日(木)

ダイバーシティ推進委員会企画ランチョンワークショップ

■ 2024年11月7日(木) 12:15 ~ 13:05 皿 第2会場 (G404)

[DLW1] 学生のリアルな声に基づいた若手支援を考える

委員長：多胡めぐみ (慶應大学)

12:15 ~ 12:20

[DLW1-01]

挨拶およびパネラー紹介

○多胡めぐみ (慶應大学)

12:20 ~ 12:25

[DLW1-02]

パネラーによる自己紹介

○大西 浩史¹, 照沼 美穂², 山内 山内³, 山崎 和彦⁴ (1.群馬大学, 2.新潟大学, 3.新潟大学, 4.産業技術総合研究所)

12:25 ~ 13:05

[DLW1-03]

聴衆参加型パネルディスカッション

ダイバーシティ推進委員会企画ランチョンワークショップ

■ 2024年11月7日(木) 12:15 ~ 13:05 皿 第2会場 (G404)

[DLW1] 学生のリアルな声に基づいた若手支援を考える

委員長：多胡めぐみ (慶應大学)

主催：日本生化学会ダイバーシティ推進委員会

12:15 ~ 12:20

[DLW1-01]

挨拶およびパネラー紹介

○多胡めぐみ (慶應大学)

12:20 ~ 12:25

[DLW1-02]

パネラーによる自己紹介

○大西 浩史¹, 照沼 美穂², 山内 山内³, 山崎 和彦⁴ (1.群馬大学, 2.新潟大学, 3.新潟大学, 4.産業技術総合研究所)

12:25 ~ 13:05

[DLW1-03]

聴衆参加型パネルディスカッション

ダイバーシティ推進委員会企画ランチョンワークショップ

2024年11月7日(木) 12:15 ~ 13:05 第2会場 (G404)

[DLW1] 学生のリアルな声に基づいた若手支援を考える

委員長：多胡めぐみ（慶應大学）

主催：日本生化学会ダイバーシティ推進委員会

12:20 ~ 12:25

[DLW1-02] パネラーによる自己紹介○大西 浩史¹, 照沼 美穂², 山内 山内³, 山崎 和彦⁴ (1.群馬大学, 2.新潟大学, 3.新潟大学, 4.産業技術総合研究所)

近年、日本の研究力の低下が問題視されています。この状況を打破するべく、研究力の強化を目指した国の事業が打ち出され、研究者の研究環境や処遇の改善、若手研究者や学生の支援制度の充実化が図られようとしています。2022年に文部科学省が実施した国内15大学の4年生（3000人）を対象として行った「大学院進学への動向及び経済的な支援に関する意識調査」では、大学4年生の62.3%が大学院への進学を希望しているという結果が得られています。一方で、学校基本調査によると、2022年の全国の全大学の学部から大学院等への進学率は12.4%であり、さらに、修士課程から博士課程への進学率は10.3%でした。これらは、学部や専攻を問わずに行った調査の結果ではありますが、理工・農学系、医歯薬系の大学生においても、進学希望と進学率の間には大きなギャップが存在していると考えられます。

今回のワークショップでは、生化学会に参加される学部生、大学院生を中心にアンケート調査に協力していただき、次世代を担う学生の進学や研究、自身の将来像に対する「生の声」を聴かせてもらうことを企画しております。また、パネラーとして、国立大学、私立大学、研究所で活躍されている4名の研究者に参加していただき、アンケート調査の結果を基に、各大学、研究所における学生・若手研究者支援などの取組みや対策などの紹介や意見交換をしていただくことを予定しております。次世代を担う若手研究者である学生が、実際にどのようなことに興味を持ち、何に期待しているのか？逆に、どのようなことを不安に感じているのか？また、実際に必要に感じているサポートとは何か？を、まずは知ることから始めていきたいと考えています。大学院への進学者数の増加は、研究者人材の増加をもたらす、最終的には研究力の増強へと繋がる、今、取り組むべき重要な課題の一つと考えられます。実際に、生化学会の学生会員が置かれているリアルな状況を知ることで、このワークショップが国内の研究力増強の第一歩になることを大いに期待しています。

無料のお弁当もごさいます。皆様のご参加心よりお待ちしております。